

しかおい議会だより

第161号

議長新年あいさつ	②
12月定例議会	②
町政を問う・一般質問	⑤
総務文教常任委員会 道外視察報告	⑦
産業厚生常任委員会 道外視察報告	⑧

「渾身の一撃」

撮影者 鹿追高校写真部1年

田中 月奈 さん

■2024（令和6）年1月25日発行

【E-mail】 gikai@town.shikaoi.lg.jp

【URL】 <https://www.town.shikaoi.lg.jp/>

■発行者 北海道鹿追町議会

2024年1月

新年のごあいさつ

鹿追町議会議長 上嶋 和志



令和6年の新年を迎えるにあたり、町民の皆さまに心よりお慶び申し上げます。

また日頃から、本町議会に対してご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。

3年余りにわたり猛威を振るっていた新型コロナウイルスの感染も、昨年の初めからの第8波と言われる時期を過ぎてからは小康状態となり、皆さまの暮らしぶりも以前のような日常が送れるようになったこととご推察申し上げます。

議会におきましても、議会報告会はもとより、各種の行事イベントに積極的に参加して、町民の皆さまのご意見を伺い行政に反映させるという本来の役割を果たすスタンスに戻ることができたと思っております。

昨年の夏は、気温の高い日が続き地球温暖化の懸念より地球沸騰化が現実味を帯びた年となりました。

鹿追町においても熱中症警戒アラートが発令されたように、危険な暑さと感じるほどの気温でした。

町内の小中学校には、幸いにして昨年度にはエアコンの設置が完了して稼働しておりましたが、鹿追高校や役場庁舎等、冷房装置が備わっていない町内施設がまだまだたくさん残っております。それらの解消に向けて町と一体となって議会も取り組んでいきます。

本年が、町民の皆さまにとってより良い年になりますことをご祈念申し上げ年頭のあいさつとさせていただきます。

12月定例議会

12月7日～14日

- 水道事業が地方公営企業法適用に
- 公共施設にスポットクーラー整備
- 国保病院にスプリンクラー設置

12月定例議会において、新規条例5件、条例改正7件、補正予算8件他を可決した。

一般会計予算は3億8423万円を補正し、総額81億2768万円とした。

主な新規条例

- 簡易水道事業の設置等に関する条例
- 下水道事業の設置等に関する条例
- 簡易水道事業の剰余金の処分等に関する条例
- 下水道事業の剰余金の処分等に関する条例

令和6年度から独立採算の原則に基づく公営企業会計へ移行するため、関係条例を整備する。

老朽化に伴う施設の更新、人口減少による使用料収入の減少が見込まれることから、地方公営企業財政法の財務規定等を適用し、健全な経営を推進する。

施行日は令和6年4月1日。

主な条例改正

- 議会議員報酬及び費用弁償等に関する条例
- 特別職の職員の給与に関する条例
- 職員の給与に関する条例等
- 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例

人事院勧告に基づき、職員給与及び議員・特別職・一般職・定年前再任用短時間勤務職員の期末・勤勉手当等を引き上げた。

会計年度任用職員（フルタイム・パートタイム）は勤勉手当が制度化され、令和6年度から支給される。

これに伴い共済費を含む補正は、全会計総額で907万円となった。



移動式冷風機

○**公共施設ス・ポットクーラー整備事業** **425万円**
 公共施設に移動式冷風機「ス・ポットクーラー」34台を整備する。
 高校寮・留学センター・ウリマックホール等15施設に整備する。

主な補正予算

○**国民健康保険税条例**
 国民健康保険被保険者の産前産後期間に係る所得割額及び均等割額を減免する。
 施行日は令和6年1月1日。
 ○**トリムセンター設置条例**
 北海道公衆浴場入浴料金統制額が改定されたことに伴い、トリムセンター浴室の一般利用料を10円引き上げる。
 施行日は令和6年4月1日。

○**帯広厚生病院運営費補助金** **323万円**
 帯広厚生病院の不採算医療部門（救命救急センター）に対し補助する。
 総額3億円を限度とし、その内30%を管内18町村で均等割及び実患者数により負担する。



バス路線を維持

○**戸籍システム改修** **165万円**
 戸籍年金窓口のシステム改修を行う。これにより戸籍の届出やマイナンバー制度利用による社会保障手続で、戸籍謄抄本の提出が不要になる。
 国の補助金を活用する。
 ○**地方バス路線維持対策補助金** **2077万円**
 バス路線を維持するため、北海道拓殖バス株式会社に対し運行路線の各市町で補助する。
 （※関連質疑4ページ）

○**企業活性化推進事業助成金** **500万円**
 町内事業者1件が行う施設整備に対し助成する。
 助成額は投資額の30%以内で、限度額は500万円。
 町内企業の活性化を目的とし、町内事業所の新設・増設・移設等に対し助成する。



令和6年度から使用される教科書

○**教員用指導書購入** **661万円**
 令和6年度から小学校の教科書が変更になるため、教員用指導書として購入する。
 十勝管内18町村で構成する「第12地区教科書採択教育委員会協議会」で決定した結果をもとに、町教育委員会において小学校で使用される教科書の採択を行なった。
 ○**物価高騰対応重点支援給付事業** **3304万円**
 物価高騰による家計への影響が大きい住民税非課税世帯等に対し支援を行う。
 対象は令和5年12月1日に本町に住所を有する世帯で、1世帯当たり7万円を支給する。支給開始は、令和6年1月中旬を予定している。
 国の補助金を活用する。



天井にスプリンクラーが設置される病室

○**スプリンクラー設置実施設計委託料** **1100万円**
 町国民健康保険病院北棟の病室他にスプリンクラーを設置するため、実施設計を行う。
 設置は、一定の基準面積を超える病院等に義務化され、設置期日は令和7年6月末までとなっている。
 （国保病院事業会計）

人事案件

○**教育委員会委員の任命**
 任期満了に伴う教育委員会委員の任命について、高橋俊樹氏の再任に同意した。
 高橋氏は平成17年から同委員に任命され6期目となる。任期は令和5年12月12日から令和9年12月11日まで。

意見書

○**刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を求める意見書**
 えん罪被害者に対する再審規定がほとんどない中で審理が進められている。再審に関わる刑事訴訟法の再審規定改正を求める。



町道路線廃止・認定

○瓜幕・瓜幕中部・瓜幕東部23号線

北海道が農村整備事業により道路を整備することから、整備路線と町道が重複しないことが要件であるためいったん廃止する。廃止路線は瓜幕西24線から西30線までの23号線。
また、整備対象外となる同西24線から西26線の23号線を再度認定する。(※関連質疑下段)



整備される瓜幕23号線

工事請負契約

○鹿追地区処理施設更新工事請負契約

下水処理施設鹿追浄化センター内の機械を更新する。
落札額は6721万円。

主な質疑

バス路線への補助金とは

(川染議員)

問 地方バス路線維持対策補助金の内容は。

答 拓殖バスの経常収支から国等の補助金を引いた額を、運行区間の帯広・音更・新得・清水・鹿追の各市町で距離に応じ負担する。鹿追町の負担割合は約28%。

瓜幕23号線整備の内容は

(狩野議員)

問 瓜幕23号線を整備するが、事業計画・工程・完成時期は。
答 町道を廃止しても除雪等維持管理は行うか。

答 令和6年度から手続きを進め、令和7年度から新規採択・調査・設計、令和8年度工事で、完成は令和11年度予定。維持管理は従来どおり実施する。

まちなか会議

議員とカフェでひとこと

開催しました。

11月21日に国際交流センター平成館で、議員とカフェでひとことを開催しました。

3人が参加し、カフェでひとことの開催方法、公共施設の雨漏り、国際バカロレア教育導入、オンライン公設塾、補聴器購入補助制度等について意見が出されました。



国際交流センター平成館にて

議場の一部がバリアフリーに！

議場の一部段差をなくしました。また、議場前通路にスロープと多目的トイレを設置しました。

また、3月末までにはエレベーターも設置されます。

3階までスムーズにお越しいただけますので、皆さまお気軽に傍聴にお越しください。



議場の一部段差を解消



議場前に多目的トイレ設置

まちなか会議 議員とカフェでひとこと 開催します。

まちや議会に関する疑問や意見、ちょっと気になる話題等気軽にお話しませんか？

令和6年2月20日(火)11:00より

安藤幹夫 議員 と 川染洋 議員が 平成館でお待ちしています！

(予約は不要です)

町政を問う。

12月13日、4人の議員が登壇し、一般質問を行なった。

野生動物対策

Q パークゴルフ場の
キツネ対策は

A 侵入防止ネットの
設置を検討



狩野 正雄 議員

置したが、効果が得られなかった。侵入防止ネットの設置や忌避剤の散布も検討したい。

エキノコックス対策では、平成28年から駆除剤入りのベイト(餌)散布をし、採取したふんの虫卵陽性率は導入前17%から令和5年度は0・65%に激減している。

(質問) パークゴルフプレー中にキツネがボールを持ち去る被害が発生している。キツネのコース侵入防止対策やエキノコックス病を媒介するため、駆除剤入り餌の散布も必要では。

(答弁) 喜井町長

しかりべつ川公園パークゴルフ場に捕獲器を設

(答弁) 喜井町長

報償金は1頭当たりヒ

(質問)

ヒゲマ等の捕獲・駆除の報償金と実績は。遭遇・目撃時の連絡先は。

グマ1万5000円、鹿6000円、キツネ・アライグマ3000円。令和4年度の報償金合計112万円。

遭遇・目撃情報は役場農業振興課から警察へ。防災無線・ミジカ等を活用し注意喚起を行い、出没周辺のパトロールを実施している。

(質問)

狩猟免許取得者への支援は。

(答弁) 喜井町長

令和2年度から「有害鳥獣捕獲対策事業」により新規免許取得の一部として3万5000円を助成している。



キツネのコース侵入防止対策を

Q 防災危機管理に関する訓練の必要性は

A 防災の備えについて普及、啓発を進める



清水 浩徳 議員

(質問)

「避難所運営マニュアル」の開設・運営等の問題点と対策の検証は。

(答弁) 喜井町長

生活困難な障がい者等の要配慮者の状態に応じ、安心して避難生活を

送ることができる体制を整備するため、福祉避難所としての運営訓練を実施し、問題点を洗い出し対策等を検証する。担当する保健福祉課と連携した具体的な訓練を令和5年度中に実施したい。

個別避難計画についても順次策定し、一体的な準備を進めている。

一般避難所運営の訓練と検証は、令和6年度から各行政区の防災委員の協力を得ながら、訓練に参加した意見を避難所運営マニュアル見直しに反映させたい。

(質問)

防災教育カードゲーム(北海道避難所運営ゲーム)の活用状況は。

(答弁) 高瀬町民課長

平成29年にいずみ野区で訓練を実施してから活用していない。

今後は、職員を対象に訓練を実施して活用したい。

(質問) 避難所外避難者に対する具体的な支援策は。

(答弁) 喜井町長

避難所外避難者を早期に把握し、食料・医療品・衛生資材等の必要物資を配布し、健康相談により生活環境の確保を図りたい。

地区ごとに防災ワークショップを開催し、共助のあり方や具体的行動等を協議し、要配慮者情報を共有することが必要である。

令和6年度中にモデル地区を選定し、段階的に全地区へと広げたい。



非常時に備え防災資機材を備蓄



若者支援

Q 若者のコミュニティづくりの支援は

A コミュニケーションを取っていく



山口 優子 議員

(質問) 結婚支援事業は、若者にプレッシャーを感じさせたり「好きな人ができてから結婚を考える人」にはアプローチできていない。まちづくりも若者が減ると活力が減っていく。きつかけやコミュニ

ニティづくりから取り組むべきである。横のつながりをもつため「イベント等で若者のボランティアを募集」「25歳、30歳、35歳の同級生会」「役場・農協職員、農協・商工会青年部、自衛隊員の若者交流会」「ピュアモルトクラブハウスを拠点とした若者サロン事業」「ハンドルキーパー手当・送迎バス・オンデマンドバスの導入」を提案する。

(答弁) 喜井町長

町では結婚や結婚新生活、子ども・子育て等支援事業を推進している。平成25年度から令和4年度までの婚姻届出件数は、合計173件。「十勝農業青年交流会」の過去10年間の本町参加者は26人で4組が成婚した。青年団体連合組織「ピュアモルトクラブ」には、現在7団体、153名が所属している。提案については、財政面等も考慮し、検討する。

(質問)

ピュアモルトクラブハウスをもっと使いやすくニーズを満たした場所にするため、若者に意見を聞いてほしい。入館者名簿は廃止を。

青年活動の育成のためには、役場職員も研修を受け、専門性を学び指導育成に当たるべきでは。

(答弁) 平山社会教育課長

より青年活動が活発になるよう、できることから改革をしていきたい。

(答弁) 喜井町長

社会教育担当職員や社会教育委員も交え、活動計画に基づき役割を果たしていくことが必要。若い人たちとコミュニケーションを取っていく。



ピュアモルトクラブハウス意見を聞いて使いやすく

Q 少子化対策の重点的な取り組みは

A さらに子育てしやすい環境を整える



金子 孝伸 議員

(質問) 鹿追町の令和4年度の出生数は30人である。少子化により各学校の学年児童数が40人を下回り、学校や学級数の維持等、教育環境に危機感を抱いている。少子化への対応や子育て

の安心・安全な環境構築に向けた重点的な取り組みや施策は。児童数減少に伴う教育環境の充実に向けた中長期的な対策は。

(答弁) 喜井町長

町では結婚生活支援、第2子以降保育料無償化、給食費無償化等、経済的支援や、子育て世代包括支援等、産前産後、保育や学校で各種支援を行なっている。本町の年少人口は、令和2年国勢調査で総人口に対し13・6%と高い状況だが、さらに子育てしやすい環境を整えたい。

学校教育環境は、各学校の児童数の見込みのみで検討するのではなく、保護者、地域との話し合いが重要と考える。

中長期的には、子どもたちが自ら学ぶ姿勢を最重要視する探究教育を中心に、中学校での国際バカロレア認定を目指し、取り組みを進めている。

(質問)

産み育てる人が安心感を得られるよう、妊娠から大学卒業までの支援策を年表形式で分かりやすく周知してほしい。

学校の維持に関してはさまざまな状況や考え方があため、地域だけでなく行政側から場面に沿った助言をしてほしい。

(答弁) 喜井町長

子育てに関するPRやホームページのリニューアル等、情報発信ツールの見直しを早急に取り組みたい。

(答弁) 渡辺教育長

学校の将来については、保護者や地域の方と連絡を密にしながら協議等を行いたい。



母子手帳アプリ「子育てアプリほばんび」



奈義町現代美術館
右は展示室「太陽」



常任委員会 道外視察報告

町議会常任委員会では、4年ごとに道外の先進地事例調査を実施しています。
総務文教常任委員会は令和5年10月30日から11月2日、産業厚生常任委員
会は同10月16日から10月19日に視察を行いました。 ※報告書全文はホームページに掲載

総務文教常任委員会

町立美術館の取り組み

インスタ映えで来館者増

○岡山県奈義町現代美術館

【町の概要】

岡山県北東部に位置し、人口5725人、世帯数2533世帯、面積69・52km²で、主な産業は、農業、畜産、林業である。

美術館は平成6年に開館。

美術館では収納不能な空間を含めた建築と作品が一体化した世界初の常設型美術館。敷地内には図書館が併設されている。

【調査結果】

美術館の運営は、財政的には厳しい状況であるが、ギャラリーでの企画等の支出を抑えて行なっている。

「空間の体感」「子どもに選べる」といったテーマが、徐々に評価を受けている。

課題は、施設の防犯問題と美術館での子どもたちへのワークショップ等、教育活動への展開である。

【考察】

空間の体感や写真撮影が可能、インスタ映えする等の評価を受け、若い世代を中心に来館者の増加につながっている。

併設の図書館も、30年の時を経て最新のデザインのような印象を与える。

公共施設のデザインは町のイメージも含め総合的にされるべきである。

奈義町長の「町づくりは、マラソンではなく駅伝のようなもの、次代に引き継いでいくもの」との思いを、この現代美術館を通して実践している。



美術館に併設されている町立図書館
四方の壁面に図書が並べられている

人口減少・子育て支援

出生率2・95のまち

○岡山県奈義町

【調査結果】

奈義町は令和元年に合計特殊出生率「2・95」を記録し、「奇跡のまち」と称されたまちである。

課題であった人口減少及び少子高齢化対策として「家庭・地域・学校・行政皆が手を携えて地域全体で子育てを支えるまち」を目指し、平成24年「奈義町子育て応援宣言」を行なった。

子育て支援策として、子育て関連施設の充実、産前産後のアプローチ（相談支援や低額な家事支援等）、しごとコンビニ事業（少しの空き時間を利用した仕事の需要と供給のマッチング）等がある。

【考察】

奈義町では子育て等支援施設で地域住民による自主的な保育活動を行なっており、子どもだけでなく親同士の交流も図っている。

また経済的支援として、生後7カ月から4歳まで在宅育児を

する保護者に毎月1万5000円、高校就学で年額24万円の支給を行なっている。

奈義町を存続させるため若者が定住し、多くの子どもが生まれ、高齢者が活躍する町民参加の町づくりを行なっている。

高い合計特殊出生率を誇る「奇跡のまち」と呼ばれるには、金銭的支援だけではなく、住むところや働く場があり、子育ての負担が軽く、子育ての悩みや喜びが共有でき、町民皆が子育てを応援してくれる「安心感」があると考える。



子育て等支援施設
「なぎチャイルドホーム」

脱炭素とまちづくり

地域特性を生かした脱炭素

○岡山県西粟倉村

【村の概要】

岡山県北東端に位置し、人口1323人、世帯数601



世帯、面積57・97km²で面積の約93%が森林である。

【調査結果】

西粟倉村は、平成20年に「百年の森林（もり）構想」を策定し、森林の保全管理、間伐材の商品化、残材のバイオマスエネルギー活用等による森林の再生を通じた地域経済の活性化を行なっている。また、小水力発電や太陽光発電も行い、村内外に情報発信している。持続可能な事業理念に共感した若者が多く移住・起業し、人口減少を食い止めている。

【考察】

西粟倉村は林業の村であり、その特性を生かして地域資源を無駄なく活用し、付加価値を付けることで経済を循環させ、村の活性化を図ってきた。

本町と資源は異なるが、再生エネルギーの活用等の取り組みは似ている。



村の木材を活用した西粟倉村役場庁舎

まちづくりの核となるものを把握し、その特性を生かし住民が満足いく事業を執行することは行政の責務であり、同時に内外に向け常に情報発信していくことが重要であると感じた。

国際バカロレア教育

探究心・知識・思いやりに富んだ若者の育成

○朝日塾中等教育学校

【学校の概要】

岡山県岡山市内の私立中等教育学校。中学1年生から高校3年生まで約200人が在籍している。

【調査結果】

国際バカロレア教育（IB）のMYP（Middle Year Program）は11歳から16歳までの生徒を対象とし、学習と社会のつながりを重視したプログラムである。

学年別ではなく、習熟度別に学習が進められる。テスト、授業、ディスカッション、プレゼンテーション、成果物の評価基準により日常の学習を含んだ評価が可能となり、自己解決能力の向上に寄与している。

【考察】

IB教育はメリットは大きい課題もある。教員の異動により、組織形態がリセットされる。また、経験したことのない教育プログラムであるため生徒や保護者への丁寧な説明が必要である。知識詰め込み型教育は、AIの発達で暗記知識が容易に入手できる現代では意味が薄れつつある。AIの間違いのない使い方等、どう教育の中で得ていくのかを考える上で、IBは必要なプログラムではないだろうか。

また、これに取り組むことで当町の教育が再評価され、人口流入にもつながる可能性も考えたい。その意味でも、短絡的に「良い」「悪い」「合う」「合わない」でなく、挙げられた課題をどう解決するかを考えることが重要である。



国際バカロレア教育認定校の朝日塾中等教育学校

産業厚生常任委員会

障がい者就労支援事業

障がい者就労500人超えを達成

達成

○静岡県掛川市

【市の概要】

静岡県西部に位置し、人口約11万5000人の都市。お茶の栽培は全国屈指で掛川茶は有名である。

【調査結果】

掛川市では、就労を希望しながら就労に至っていない障がい者が500人を超えていた。（平成25年3月末）

市は、就労の実現のため、500人サポート推進室を新設し事業を推進した。その結果、事業開始後4年間で目標の500人を達成し、就労定着率は80%を超え、成果を挙げた。

【考察】

障がい者の就労を推進していくため、専門部署の新設や「障がいのある人の働きたいをかなえる条例」を制定し、企業や市民に理解を求めてきた。その結果、目標を達成すること

とができたことは市や関係機関の事業連携の表れであり、評価に値する事業であった。

本町においても障がい者支援は種々取り組まれているが、専門部署設置は難しい状況である。

条例制定により事業を推進することは、その理念を多くの人たちに理解と協力を得ることができる。

本町でも多くの障がい者が町内で就労するための現状と課題について検討する必要がある。



吹き抜けて広々とした掛川市役所内部



健康医療基本条例による
福祉施策

議会提案により制定

○静岡県掛川市

【調査結果】

市は、健康医療基本条例を制定し、市内5カ所に地域医療支援センターを設置し、医療・保健・福祉・介護の多職種連携による垣根のない取り組みは、厚労省大臣賞受賞等、高い評価がされている。

健康施策では、市民や企業に対し健康への意識付け事業等を展開している。

また、エンディングノートを配布し、人生の最終段階まで健康や自分の意思を伝達する手段として記入促進を行っている。

【考察】

エンディングノートでは、健康意識の向上と共に、意思を家族に伝えることの重要性を認識した。

条例の理念に、人生は健康で生き生きと暮らすことが大切であるとし、多彩な健康施策が盛り込まれている。
この条例は、議会からの提

案で制定され、条例制定後も議会側から健康の提言をする等、学ぶところが多かった。

健康・予防日本一
ふじえだプロジェクト

健康寿命を延ばそう

○静岡県藤枝市

【市の概要】

静岡県中部に位置し、人口約14万1000人の都市。サッカーのまちとして有名。

【調査結果】

特定健診受診率が48・4%と全国的に高い状況で、健康・予防日本一を掲げ健康の施策を展開している。

健康寿命を延ばす3つのプロジェクトとして、

①歩いて健康

歩数をアプリで記録し、バーチャルで全国の旅を行う。

②健康スポット20選

市内の健康スポットを20カ所選定し、訪問を促進している。

③健康マイレージ

食事コントロールや受診等、目標達成者に飲食店等でのサービスカードを進呈している。

【考察】

まちづくりの柱を「健康・予防日本一」とし、健康プロジェクトは先進的な市民参加型の施策である。

健康と幸せをあわせて「健康・幸」とし、市民が楽しく参加できる事業や、スマートフォンを活用した事業等、工夫がされていた。

高い健診率の継続は、数十年前から市民が構成する健康保健委員1000人体制による地道な活動が成果として表れている。

鹿追町でもマンパワーの保健指導も行っており、その重要性について再認識した。



健康・予防日本一を掲げる藤枝市

豊根村のチョウザメ

民間人による事業展開

○愛知県豊根村

【村の概要】

愛知県北東部に位置し、人口は約980人の村。行政面積の93%が森林で良質なヒノキの産地である。

【調査結果】

平成24年、村在住の50代男性が新しい取り組みとし、当時、村の補助金50万円を受け、稚魚1000匹からチョウザメ事業をスタートさせた。

試行錯誤により事業を継続し、ようやく軌道に乗りだし、平成28年にはチョウザメの魚肉を村内の飲食店に提供した。稚魚は平成30年には5000匹を超えた。

キャビア採取の研究も重ね令和4年4月、10年目にして成功し、その年の6月には首相に報告した。

また、キャビアは令和4年度ふるさと納税返礼品として活用され800万円の実績があった。

村からは、村の旧学校給食調理場を加工施設として借り

受けているが、財政面の支援はほとんどない。

行政とは商品のPRの方法等を連携しており良好な関係を保っている。

【考察】

事業者は、豊根村振興のため、豊根村に來ないとチョウザメは食べられないとする等、強い意気込みがあり、地元飲食店も協力的である。

本町の事業は平成26年開始で豊根村とほぼ同時期であり、研究機関等も共通している。

先進地の豊根村の事業を研究すると共に、事業への町民の関心づくりや、理解者、協力が事業を後押しする体制が望まれる。



豊根村のチョウザメ養殖場





議会だよりの表紙写真を提供 鹿追高等学校写真部

しかおい議会だより7月号から表紙写真の提供をいただいている北海道鹿追高等学校写真部の皆さんに、活動等について伺いました。

Q. 活動内容は。

A. 週に一度、木曜日が活動日ですが、日ごろ気になった場面等「これは！」と思う画を撮っています。

Q. 写真の面白さって何ですか。

A. 自分が「あ、綺麗だ」と思ったものをそのまま画として残せることが楽しいです。



北海道鹿追高等学校
写真部のみなさん

Q. 議会だよりの他にも、いろいろな場面で町民の方が作品に触れる機会が増えたと思います。何か変化ありましたか。

A. 目に触れる機会が多くなり「もっと上手になりたい」という思いが強くなりました。

インタビューにに応じていただいた部員の皆さんと話をしている、そのときの目がキラキラしていたことがとても印象的でした。これからもたくさん作品を見せていただきたいと思っています。

鹿追高等学校写真部
部員 1年生 4人
2年生 4人
3年生 2人
計10人

顧問 清水 孝教諭

(取材・インタビューアー 金子孝伸)

今後も有意義な議会活動を



傍聴した01農業塾生と産業研修生

令和5年12月13日に定例議会一般質問が行われ、産業研修生1人と01農業塾生6人が傍聴しました。

当日は4人の一般質問があり、害獣問題や若者のコミュニティづくりの推進・支援等、研修生や農業後継者に身近なテーマでもあり、熱心に傍聴していました。



01農業塾生
高橋 智宏さん

今年には町議選もあり、関心はあったものの議会を傍聴したことはなかったのが、良い経験になりました。私は鹿追町に戻ってきて、約一年になります。その中で、農家戸数の減少や害獣問題等、課題はいくつも感じています。個人ではどうすることもできない問題も多いので、今後も有意義な議会活動を行い、より良い町づくりをしていただきたい。

(取材・インタビューアー 佐々木康人)

編集後記



議場のバリアフリー化が進みました

役場庁舎でトイレ、議場改修工事が行われ、昨年12月7日に使用が可能となりました。エレベーターは3月末までに設置予定です。1階と3階に多目的トイレを設置、議場は一部段差を解消し傍聴がしやすくなりました。

庁舎のバリアフリー化は前進しましたが、住民と議会のバリアフリー化も行なっていく必要があります。議会活動にご意見をお聞かせいただければ幸いです。

議会広報部会 部会員 青砥 敏一

議会広報聴常任委員会
広報部会

部会長 佐々木康人
副部会長 山口 優子
部会員 青砥 敏一
金子 孝伸
黒井 敦志